学校だより 10月号

令和８年９月３０日　第６号

大田区立多摩川小学校 校長 並木 昭
https://www.ota-school.ed.jp/tamagawa-es/

学校だよりはデータ配信（tetoru）になります。
本校HPにも掲載しています。ご確認ください。

一人一人の「輝き」が織りなす、実りの秋

副校長 吉川 貴雄







連日の長雨が、秋晴れを一層待ち遠しくさせる今日この頃です。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度も2学期に入り、校内はこどもたちの情熱と努力の成果であふれています。先日の夏休み自由作品展では、工夫を凝らした力作から豊かな発想力が伝わってきました。また、科学展の作品で見せた探究心、人権作文・標語・ポスターなどに込められた豊かな感性にも目を見張るものがあります。地域のスポーツクラブ等でよい成績を残すこどもたちもいました。先日の多摩小まつりでは、限られた時間や条件の中でアイデアを出し合いながら6年生を中心にたてわり活動に取り組む姿が見られ、大田区の代表として5年生の児童が参加した人権メッセージの発表会でも、自身の気付きや身の回りの人への思いやりを自分の言葉で堂々と伝える、素晴らしい姿が見られました。

校内外のさまざまな分野で自分の得意を生かし、活躍する児童がたくさんいることを、大変うれしく、誇らしく思います。こうした挑戦と「できた」という経験は、こどもたちの大きな自信へとつながっていきます。

誰にでも、その人にしか出せない「輝き」があります。こどもたち一人一人がもつ可能性を大切にしながら、互いのよさや違いを認め合い、それぞれの挑戦を拍手で応援できる温かい学校を、これからも目指してまいります。

小学校期における成長の原動力は、結果そのものよりも、「やってみたい」と一歩を踏み出し、試行錯誤したプロセスの中にあります。ご家庭におかれましても、結果の成否だけでなく、「最後まであきらめずに机に向かっていたね」「そのアイデア、面白いね」といった、目に見えにくい努力や工夫に光を当てる声かけをよろしくお願いいたします。身近な大人から「プロセスを認められた」という実感が、こどもたちの「次もやってみよう」という主体性と、新たな一歩を踏み出すしなやかな強さを育てます。今後とも、こどもたちの挑戦への温かい伴走をよろしくお願い申し上げます。

１０月の生活目標「自分の仕事に責任をもとう」　　生活指導部

学校生活では、日直や給食当番、掃除、委員会活動など、一人一人に役割があります。「自分の仕事だから、最後までやり遂げよう」という気持ちを大切にしてほしいです。

仕事を忘れたり、うまくできなかったりすることもあると思います。やり直したり、周りの人に相談したりすることが大切です。責任をもって取り組む経験は、自分の成長だけでなく、みんなが気持ちよく過ごせる学校づくりにもつながります。今後も、小さな仕事でもまじめに取り組む子の育成を目指していきます。

ご家庭でも、お子さんが自分の役割に取り組む姿を温かく見守り、励ましていただければと思います。

「芝生養生期間について」

生活指導部

10月5日（月）から本校の教育の特色の一つである「天然芝芝生の校庭」の養生が始まります。この期間に、春から美しい緑色を見せてくれていた夏芝から、冬でも緑色の葉を保つことのできる冬芝への植え替えを行います。この期間は、校庭は使用できません。多摩川小学校の特色である天然芝の校庭で、こどもたちが伸び伸びと過ごせるようにご協力をよろしくお願いします。

【養生期間中の約束】

◆登下校時など校舎外を移動するときは、犬走り（煉瓦のコンクリート部分）を歩きます。

◆学校公開や児童の引き渡しなどで来校する際は、芝生に入らず、犬走りを通ってください。